

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	川崎市黒川青少年野外活動センター	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人 国際自然大学校 ・代表者名 理事長 佐藤 初雄 ・所在地 東京都狛江市岩戸北4-17-11	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	子ども未来局青少年支援室

### 2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 29,915 人 (平成28年度:30,469人)	②年間延べ利用団体数 861 団体 (平成28年度:846団体)		
収支実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>1 収入</p> <p style="text-align: right;">指定管理料 24,832,337</p> <p style="text-align: right;">その他収入 7,550,891</p> <p style="text-align: right;">合 計 32,383,228</p> <p>2 支出</p> <p style="text-align: right;">人件費・賃金 12,986,212</p> <p style="text-align: right;">光熱水費 1,664,047</p> <p style="text-align: right;">委託費 2,650,870</p> <p style="text-align: right;">消耗品費 3,360,693</p> <p style="text-align: right;">修繕費 107,389</p> <p style="text-align: right;">その他経費 11,529,148</p> <p style="text-align: right;">合 計 32,298,359</p> <p>3 差引</p> <p style="text-align: right;">84,869</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: right;">単位:円</p> </td> </tr> </table>		<p>1 収入</p> <p style="text-align: right;">指定管理料 24,832,337</p> <p style="text-align: right;">その他収入 7,550,891</p> <p style="text-align: right;">合 計 32,383,228</p> <p>2 支出</p> <p style="text-align: right;">人件費・賃金 12,986,212</p> <p style="text-align: right;">光熱水費 1,664,047</p> <p style="text-align: right;">委託費 2,650,870</p> <p style="text-align: right;">消耗品費 3,360,693</p> <p style="text-align: right;">修繕費 107,389</p> <p style="text-align: right;">その他経費 11,529,148</p> <p style="text-align: right;">合 計 32,298,359</p> <p>3 差引</p> <p style="text-align: right;">84,869</p>	<p style="text-align: right;">単位:円</p>
<p>1 収入</p> <p style="text-align: right;">指定管理料 24,832,337</p> <p style="text-align: right;">その他収入 7,550,891</p> <p style="text-align: right;">合 計 32,383,228</p> <p>2 支出</p> <p style="text-align: right;">人件費・賃金 12,986,212</p> <p style="text-align: right;">光熱水費 1,664,047</p> <p style="text-align: right;">委託費 2,650,870</p> <p style="text-align: right;">消耗品費 3,360,693</p> <p style="text-align: right;">修繕費 107,389</p> <p style="text-align: right;">その他経費 11,529,148</p> <p style="text-align: right;">合 計 32,298,359</p> <p>3 差引</p> <p style="text-align: right;">84,869</p>	<p style="text-align: right;">単位:円</p>			
サービス向上の取組	野外活動に関する知識や技術が豊富な職員が指導にあたり、満足度の高い体験や世代間交流、地域交流の場を作っている。また事業実施後に反省会を開き、改善点を指導マニュアルに反映させており、事業の充実を図っている。			

### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	4	4
	(評価の理由)	<p>・施設の目的に沿って、野外活動に関する専門性を活かし、概ね計画どおりに事業を実施している。</p> <p>・昨年度モデル実施した、アウトドアに親しみきっかけづくりを目的とした「アウトドアキッチン」を今年度から本格実施。家でも手軽に作れたり、子どもと一緒に作れるメニューであったこと、キッズコーナーを設置し、子連れでも参加しやすかったこと等により、これまで利用の少なかった主婦層の利用拡大につなげることができた。</p> <p>・また、当該施設は、青少年に野外活動を体験させる指導者の養成に力を入れており、継続実施しているBBQインストラクター講習会のセンターでの合格者は1,000人を超え、資格取得したインストラクターが地元で講習会を開催しているほか、今年度新たに、ブッシュクラフトの技術を活用できる指導者を養成する「認定ブッシュクラフト講座」をブッシュクラフト株式会社とともに実施、他の体験活動施設からも多数参加し、各教育施設でのプログラム実施につながるなど、指導者を増やすことで、青少年が野外活動を体験する機会の提供に努めている。</p> <p>・こうしたことから、年間延べ利用者数は事業計画目標を若干下回っているものの、前指定管理時平均より約10.4%増加した。</p> <p>【参考】第2期指定管理時(平成21年度～平成25年度)平均延べ利用者数:27,106人</p>			
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか				
	(評価の理由)	<p>・適正な金銭管理・会計手続について、本部との連携を強化し、毎月の収支を本部担当者がチェックするなど、チェック体制の強化を図っており、会計処理及び金銭管理のための規則等に従い、会計処理及び金銭管理を適切に処理している。</p> <p>・効率的・効果的な支出について、概ね計画に基づいた適切な収入・支出がなされている。</p>			

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	3	3
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	4	8
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・事業の広報については、チラシやニュースレター、ラジオ出演、SNSの活用等、積極的に行っているほか、近隣店舗でのポスター掲示やイベント情報サイトに掲載するなど、より多くの人に見てもらい工夫を行った。</li> <li>利用者への対応については、青少年の家で実施の「マナー研修」に参加し、基本的な接客・電話対応等を学び、接遇向上を図るなど、職員の資質向上に努めた。</li> <li>当該施設は地域と良好な関係を保っており、利用者からの苦情やトラブルはほとんどないが、苦情があった際は、即座に職員会議を行い、職員全体で共有し改善を図っている。</li> <li>学校及び行政機関との連携については、近隣の小中学校における総合的な学習や遠足、奉仕活動等を積極的に受け入れ、野外体験活動を通じた青少年の健全育成を行っているほか、今年度新たに、PTAの家庭教育学級に講師として参画し、災害時に役立つアウトドアのスキル(ロープワークやビニールレインコートの作り方)を指導し、地域との連携の強化を図った。また、ボーイスカウトと相互にノウハウを伝達しあうなど、地域との連携も積極的に図りながら、地域に根差した施設運営を行っている。</li> <li>利用者ニーズについては、今年度から、受付前にアンケート箱を設置し、利用者がいつでも気軽に意見を寄せられる環境づくりに努めたほか、普段から職員による声掛け等を積極的に行うなど、利用者ニーズの把握に努めており、今年度は要望の多かった、各部屋にウインドエアコンを設置し、利用者が過ごしやすいよう環境を整えた。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人員配置については、主催事業の運営やプログラムの指導の依頼に応じて柔軟な勤務体制を組んで対応しており、教員免許や保育士資格のほか、BBQインストラクター、認定プッシュクラフター等、各種事業に必要な有資格者を配置し、職員の専門知識を活かした事業展開を行った。</li> <li>職員の研修体制については、職員のスキルアップや新規プログラム開発につながるような研修を積極的に受講させるなど、職員の資質向上に努めている。</li> <li>個人情報等の取扱いについては、黒川青少年野外活動センター個人情報の取り扱い方針を遵守し、個人情報の取り扱いについて、適切な運用を行っている。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保			
	防犯対策	施設等の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
		災害発生時のマニュアル等が整備されているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の保守管理については、専門の業者による定期的な点検に加え、職員も月1回施設点検を行っている。また、敷地内の広大な裏山については、地域のネイチャーボランティアや地域の利用団体の協力により適切に管理している。</li> <li>利用者の安全確保については、事故対応マニュアル(安全対策マニュアル)を整備しているほか、熱中症計の使用や経口補水液の常備など、夏場の熱中症対策を行った。また、法人管理の他施設での事例等を活用して、事故検証を行ったり、同施設での事故について法人全体で共有するなど、利用者の安全確保に努めている。</li> <li>災害への対応として、防災訓練を実施したほか、地元の炊き出し訓練に参加したり、災害時には神社の備蓄倉庫食材を利用できる旨の取り決めを町内会と結んでいるなど、日頃から地域と協力し合える関係を築いている。</li> </ul>					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

#### 4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、  
C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、  
E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

幼児から成人まで、幅広い年齢層に対応した、多彩な青少年体験事業を実施し、野外活動の普及に努めた。また、最近全国的に人気の出始めた、プッシュクラフトに関する講座をいち早く取り入れるなど、様々な工夫を凝らしながら、野外活動の指導者養成にも積極的に取り組んだ。さらには、「おもちゃつき」や、過去最高の参加者数となった「自然体験フェスティバル」の開催等を通じて、地域との交流にも積極的に取り組んでいることは、特筆に値する。

広報の取組としてSNSを活用して新規利用者の獲得に取り組んだり、新たな事業を立ち上げ、利用者層の拡大を図るなど、施設の利用促進にも努めている。また、地域のネイチャーボランティアと連携しながら、敷地内の広大な山林を維持・管理するなど、ユニークな取組も行われている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も都市における貴重な自然を多くの市民に知ってもらい、地域と連携して、身近に野外活動を体験できる環境づくりを進めてもらうとともに、野外体験活動を通して、青少年の健全な育成が図られるような魅力ある事業を展開してもらいたい。